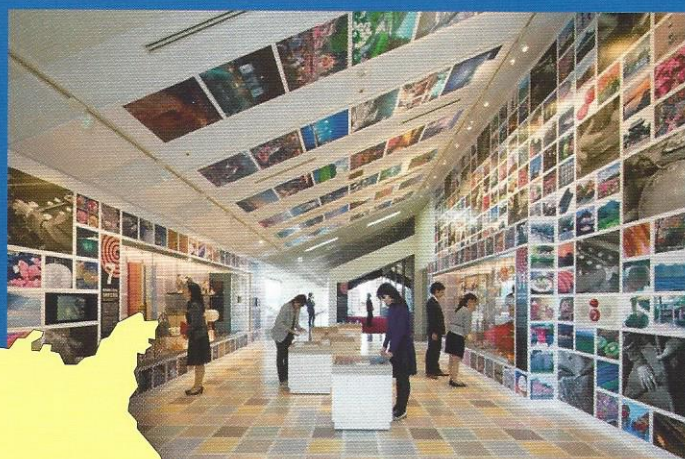


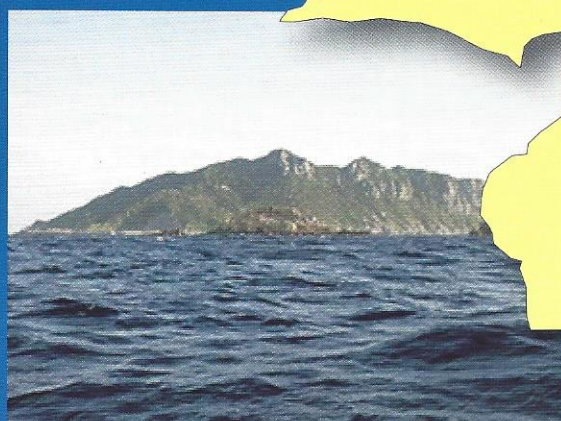
# 福岡県の予算 (平成27年度)



知事による  
「あまおう」トップセールス



「福岡よかもんひろば」  
(福岡県庁11階)



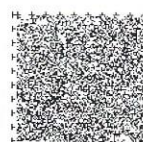
平成29年度の世界遺産登録を目指す  
(沖ノ島)



平成27年度に世界遺産に登録  
(官営八幡製鐵所旧本事務所)  
[非公開施設] 写真提供/新日鐵住金(株)八幡製鐵所



## 福岡県





# 県民一人ひとりが幸福を実感できる 「県民幸福度日本一」の福岡県を目指します。

平成27年度当初予算について、お話しします。

私は、知事就任以来、福岡県を唯一日本海側のアジアを向いた一大拠点として発展させ、我が国の発展に貢献していくこと、県民の皆様が「この県に生まれてよかった、生活してよかった」と思っただけ、**「県民幸福度日本一」**を目指して、全力投球をしてきました。その際、**「現場主義」**、**「生活者の視点」**、**「温かみのある行政」**、この三つを心掛けてきました。

平成27年度当初予算においては、引き続き、県民一人ひとりが幸福を実感できる**「県民幸福度日本一」**を目指し、次に掲げる政策課題に重点的に取り組むこととしています。

- 1 景気の回復と魅力ある雇用の場の創出
- 2 出会い、結婚、子育て、就職・仕事の支援
- 3 女性や高齢者の活躍の応援
- 4 たくましいグローバルな人材の育成
- 5 安心して生活できる共助社会の実現
- 6 安全・安心、災害に強い県づくり

同時に、平成26年2月に策定しました**「財政改革推進プラン」**に基づき、財政健全化を着実に推進していくこととしています。

この冊子では、当初予算の概要や福岡県の財政状況、財政健全化の取組みをわかりやすく説明するほか、主要事業を紹介しています。

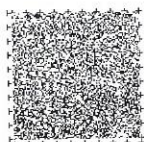
県民の皆様、県政への理解を深めていただき、明日の福岡県を一緒に考えていく一助としてご活用いただければ幸いです。



福岡県知事 小川 洋

## 目 次

|                          |    |
|--------------------------|----|
| I 平成27年度福岡県当初予算(一般会計)の概要 | 2  |
| II 県債の状況                 | 7  |
| III 財政健全化の取組み            | 8  |
| IV 主要事業の紹介               |    |
| 「景気の回復と魅力ある雇用の場の創出」      | 9  |
| 「出会い、結婚、子育て、就職・仕事の支援」    | 12 |
| 「女性や高齢者の活躍の応援」           | 13 |
| 「たくましいグローバルな人材の育成」       | 13 |
| 「安心して生活できる共助社会の実現」       | 15 |
| 「安全・安心、災害に強い県づくり」        | 16 |



○県の財政に関する情報は、ホームページでもご覧になれます。  
福岡県ホームページ <http://www.pref.fukuoka.jp/>

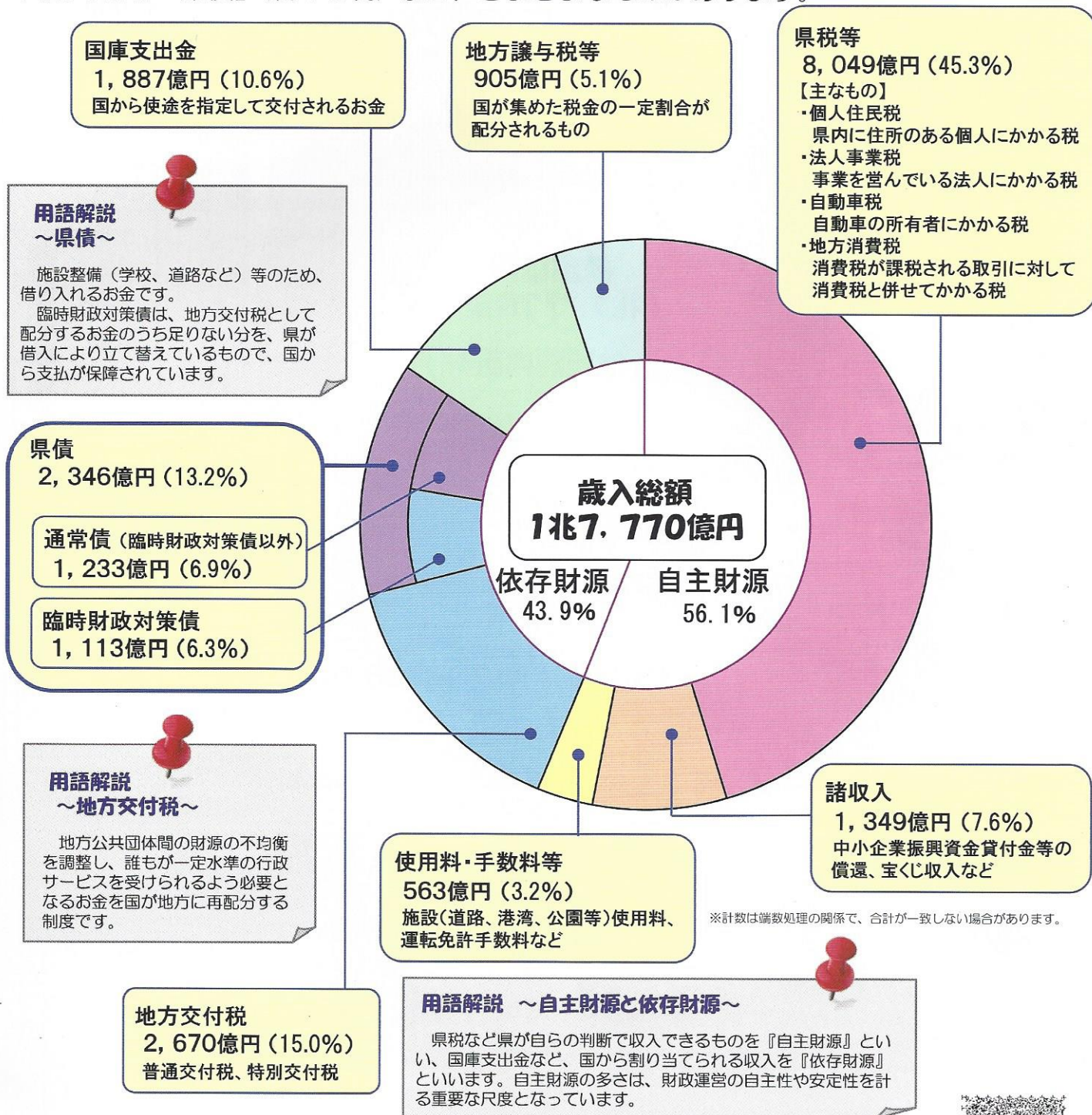


# I 平成27年度福岡県当初予算(一般会計)の概要

予算総額は1兆7,770億円で、前年度に比べて1,052億円、6.3%の増となりました。10年連続のプラスで過去最大規模の当初予算となります。  
また、歳入における県税等も過去最大となっています。

## 歳入予算の内訳

歳入予算のうち、もっとも大きなものは「県税等（県税及び地方消費税清算金）」で全体の約45%を占めています。このほか、国から配られる「地方交付税」（約15%）や借入金である「県債」（約13%）など、さまざまなものがあります。

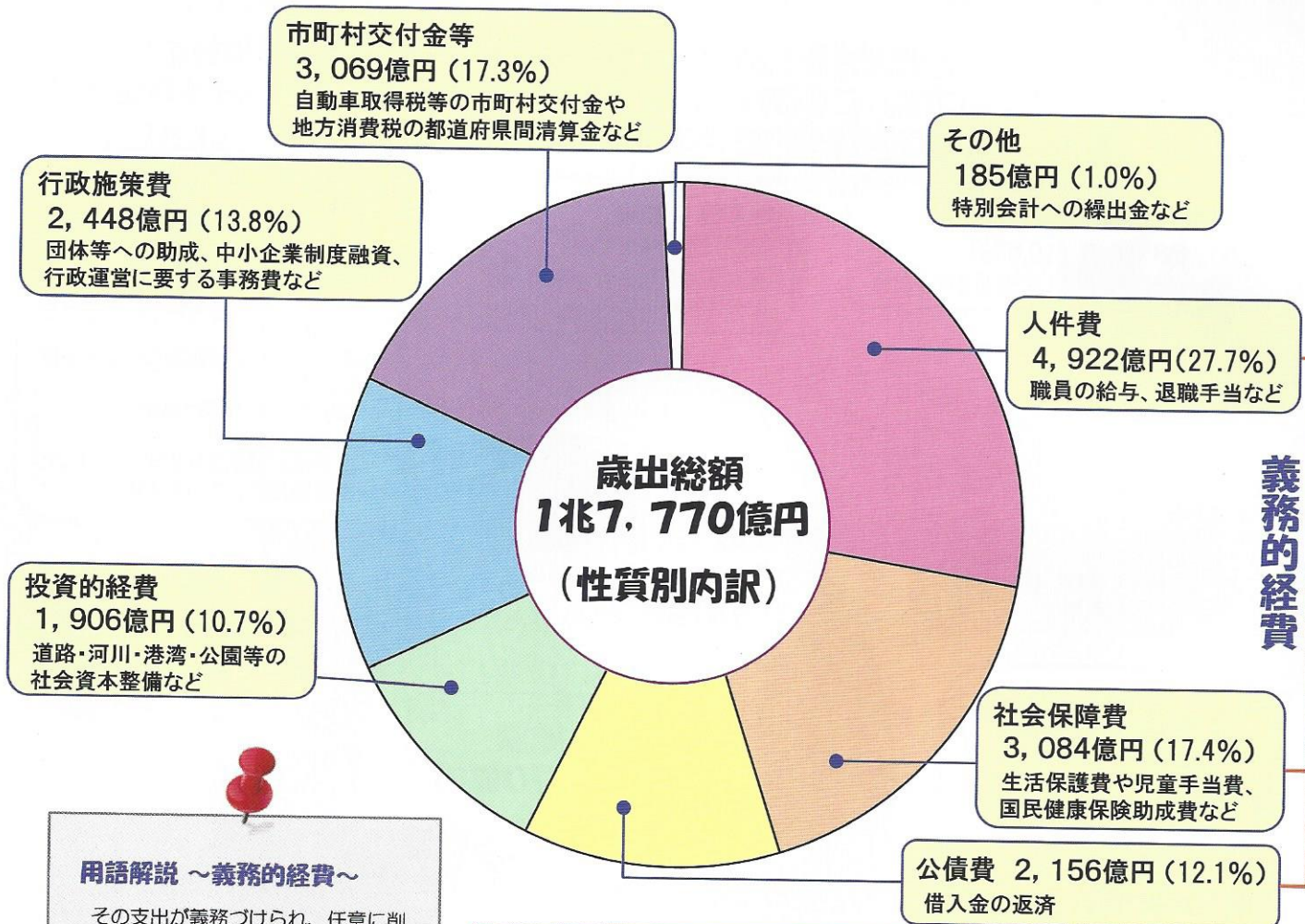




## 歳出予算の内訳（性質別経費・目的別経費）

### 性質別経費

歳出を経費の性質ごとに分類したもので「人にかかる経費（人件費）」や「道路や建物など将来への投資となる経費（投資的経費）」などに分けられます。



#### 用語解説 ～義務的経費～

その支出が義務づけられ、任意に削減できない経費（人件費、社会保障費、公債費）をいいます。社会保障費については、高齢化や医療費の増などにより年々増加していますが、人件費の削減に努めるなどの取組みを実施し、新たな事業の財源確保に努めています。

#### ～性質別でみる対前年度歳出予算との比較～

- ・『社会保障費』は、子ども・子育て支援新制度の実施や難病医療費助成の拡充等により131億円の増額。
- ・『市町村交付金等』は、県税等の増収に伴い1,133億円の増額。
- ・『投資的経費』では、保育所緊急整備費を除く公共事業費全体で110億円の減額。 ※今後、県内経済の動向を見極めつつ、必要に応じて事業費を確保

#### 地方消費税増収分は社会保障施策の充実・安定化に充てています

本県では、消費税率引上げに伴う地方消費税増収分 約397億円を、子ども・子育てや医療・介護などの社会保障施策に要する経費の一部に充当しています。

【充当した施策の主なもの】

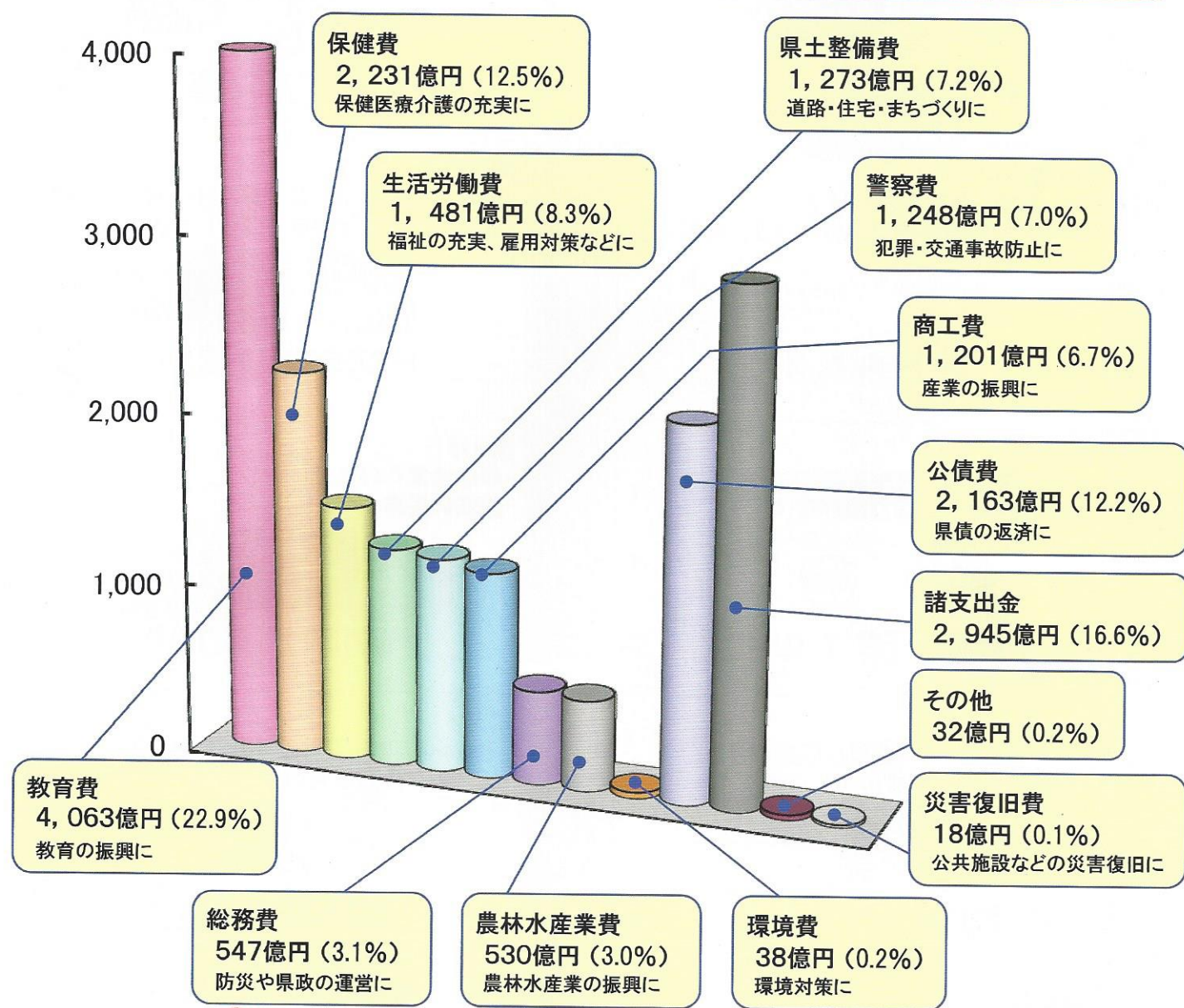
- 子ども・子育て分野
  - ・保育所定員の拡大に伴う保育所運営費の増額
  - ・一時預かり事業、延長保育事業、放課後児童クラブの運営等への支援
- 医療・介護分野
  - ・国民健康保険等における低所得者の方々に対する保険料軽減措置の拡充
  - ・難病対策における医療費助成の対象疾病の拡大



## 目的別経費

歳出をサービスの目的ごとに分類したもので「学校教育のための経費（教育費）」や「農林水産業振興のための経費（農林水産業費）」「犯罪捜査など警察活動のための経費（警察費）」などに分けられます。

なお、歳出全体に占める割合は教育費が最も高く、予算総額の22.9%を占めています。これは、市町村立義務教育学校教職員の人件費を負担していることなどによります。



### 用語解説

#### ～諸支出金～

都道府県清算金（地方消費税等都道府県間で清算するお金）や市町村交付金（県に納められた税の一定割合を市町村に交付するお金）からなる予算項目です。

### ～「その他」の内訳は……～

- ・議会費 30億円 (0.2%)  
県議会の運営に
- ・予備費 2億円 (0.01%)  
予算編成のときには予期できなかった  
予算外の支出に



## 県民一人あたりの支出内訳

一般会計の予算を県民一人あたりで計算すると約34万7千円(※)となります。  
県民生活の「安定」「安全」「安心」の向上のため、さまざまな施策に活用しています。

※ 平成27年5月末現在の人口(住民基本台帳: 511万7,115人)で割っています。

### 教育の振興に

例えば..

- ・教職員人件費、学校の運営経費
- ・県立学校の耐震化対策(P16) など



約7万9千円(22.9%)

### 保健医療介護の充実に

例えば..

- ・周産期医療対策(P12)
- ・健康長寿のための拠点づくり(P15) など



約4万3千円(12.5%)

### 福祉の充実、雇用対策などに

例えば..

- ・きめ細かな就職支援(P12)
- ・女性や高齢者の活躍応援(P13) など



福岡県男女共同参画  
シンボルマーク

約2万9千円(8.3%)

### 道路・住宅・まちづくりに

例えば..

- ・道路、河川、港湾、公園など社会資本の整備
- ・建築物の耐震化促進(P16) など



約2万5千円(7.2%)

### 犯罪・交通事故防止に

例えば..

- ・警察官人件費、警察署などの運営経費
- ・飲酒運転撲滅、暴力団排除(P17) など



約2万4千円(7.0%)

### 産業の振興に

例えば..

- ・中小企業への支援(P9)
- ・創業の促進(P9) など



約2万3千円(6.7%)

### 防災や県政の運営に

例えば..

- ・分散型エネルギーの普及促進(P12)
- ・避難行動要支援者の避難支援(P16) など



約1万1千円(3.1%)

### 農林水産業の振興に

例えば..

- ・農林水産物のブランド化推進(P10)
- ・総合的な鳥獣被害対策(P11) など



約1万円(3.0%)

### 環境対策に

例えば..

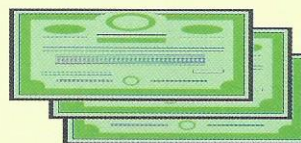
- ・県産リサイクル製品の認定(P17)
- ・生物多様性戦略の推進(P17) など



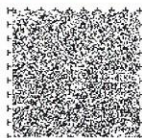
約1千円(0.2%)

### 県債の返済に

福岡県の県債の状況については、  
P7で詳しく説明しています。



約4万2千円(12.2%)





## 福岡県の家計簿

福岡県の平成27年度一般会計予算総額（1兆7,770億円）を  
年収500万円の家計に例えた場合、次のようになります。

### 収入

| 区分                                         | 収入額   |
|--------------------------------------------|-------|
| 給与<br>(県税、地方交付税、地方譲与税など)                   | 326万円 |
| 給与立替え(※1)<br>(臨時財政対策債)                     | 31万円  |
| 借入金<br>(通常債)                               | 35万円  |
| パート、賃料・臨時収入<br>(使用料・手数料、諸収入など)             | 45万円  |
| 預貯金取崩し(繰入金)                                | 9万円   |
| ＜うち貯金(※2)取崩し＞<br>(財政調整基金等三基金繰入金)           | ＜1万円＞ |
| 奨学金や保険給付、家屋修繕の<br>助成金<br>(国庫支出金、地方特例交付金など) | 54万円  |
| 合 計                                        | 500万円 |

### 支出

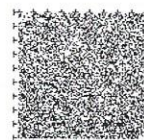
| 区分                                     | 支出額   |
|----------------------------------------|-------|
| 生活費<br>(食費、日用品費、光熱水費)<br>(人件費、一般行政費など) | 154万円 |
| 医療費、介護費<br>(社会保障費)                     | 87万円  |
| ローン返済<br>(公債費)                         | 61万円  |
| 家の修繕、家財道具買替え<br>(投資的経費)                | 53万円  |
| 教育費、仕送り<br>(補助費等、繰出金)                  | 111万円 |
| 預金、投資<br>(積立金、投資及び出資金、貸付金)             | 34万円  |
| 合 計                                    | 500万円 |

※1 借入金の一部ですが、将来会社から給与として支払われます。

※2 収入不足が生じたときなどに使うため、貯めているものです。

収入は、給与(県税、地方交付税等)のほか、借入金(県債)も大きな割合を占めています。  
それに対して支出は、食費や日用品費などの生活費(人件費等)、医療費、介護費(社会保障費)、ローン返済(公債費)といった減らすことが難しい経費の割合が高くなっています。古くなった家の修繕(投資的経費)も費用がかかりますが、暮らしの安全を守るためには必要ですし、災害などへの備えも欠かすことはできません。

このため、貯金(財政調整基金等三基金)を取り崩して収入不足を補う一方、支出は食費を抑えたり、日用品費、光熱水費の節約に努めるなどして、家計のやりくりを行っています。





福岡県の県債について、その状況をご説明します。

Q. 県債はなぜ発行するのですか？ また、どういうことに使われているのですか？

A. 道路、河川、公園、学校、福祉施設といった公共施設等の建設には多額のお金がかかるため、それを単年度の収入だけで賄おうとすると、その年度に必要な他の事業に使えるお金が限られてしまいます。

また、県債を活用して整備する公共施設等は、たくさんの方が、何十年もの長い間利用できるものです。

そこで、施設をつくった年の県民の皆さんだけではなく、資金を借りて支払を分割することで、将来の県民の皆さんにも平等に負担をお願いしています。

現在、県では、事前防災・減災対策の推進のため、県債を活用して、緊急輸送道路の整備、河川の改修、ため池等の整備促進、県立学校耐震化、公共土木施設の老朽化対策など、安全・安心で災害に強い福岡県づくりを進めています。また、高齢者福祉施設の整備など、生活者の視点に立った事業にも重点的に取り組んでいます。

県債を活用している公共施設の例（H27予定）



道路整備



県立公園整備



河川整備



県立学校の耐震化



道路照明や交通信号機のLED化

Q. 県債残高が年々増加しているようですが、大丈夫ですか？

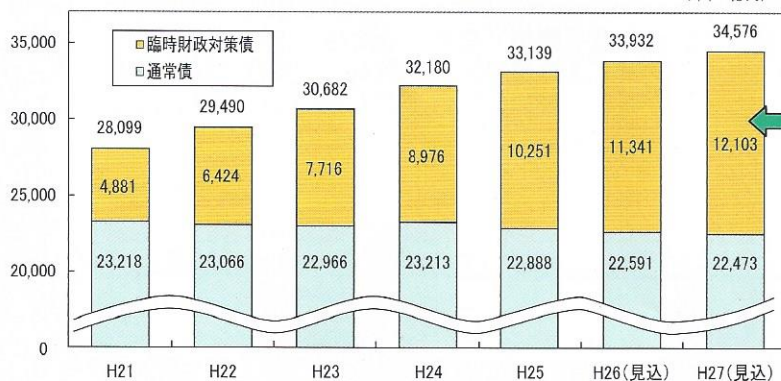
A. 県債残高が増加しているのは、近年「臨時財政対策債」という特別な借入が増加しているためです。

この臨時財政対策債は、国がその返済のための資金を手当てすることになっているため、その残高が増加しても県財政を悪化させるものではありません。

なお、臨時財政対策債以外の残高は、平成25年度以降、3年連続で減少となる見込みです。

県債残高の状況

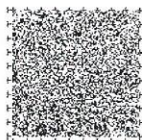
(単位:億円)



臨時財政対策債とは？

現在、国が集める税金などに不足が生じ、地方交付税として必要な現金が確保できないため、その分を地方が借金（県債）で賄っています。

この県債を臨時財政対策債といい、その返済のための資金は全額地方交付税で措置されることになっています。





### III 財政健全化の取組み

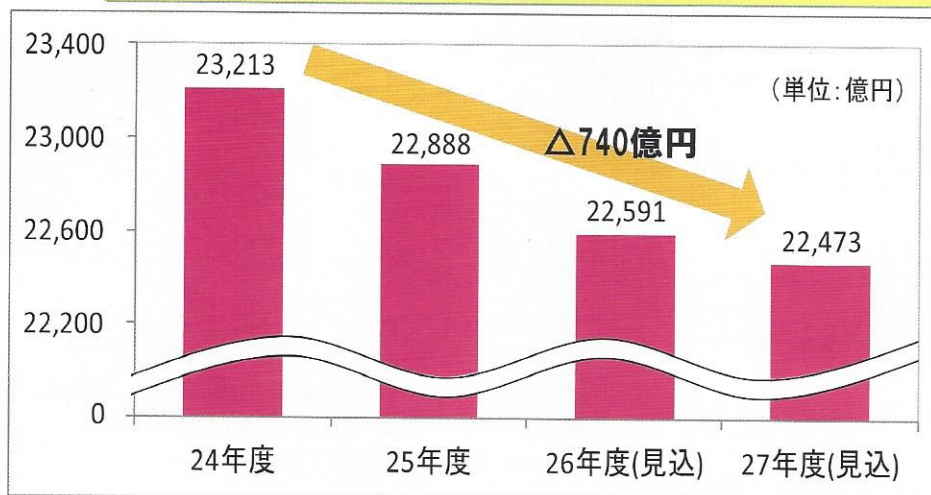
本県では「財政改革推進プラン」に基づき、さまざまな行財政改革に取り組んでいます。その結果、平成27年度当初予算では、目標額である135億円を上回る137億円の改革効果を上げることができました。

また、通常債の県債残高については、平成24年度と比べて740億円を圧縮できる見込みであり、550億円圧縮というプランの目標額を1年前倒しで達成することとなります。

平成27年度当初予算における改革措置状況(単位:億円)

|             | 目標  | 27年度当初予算 |
|-------------|-----|----------|
| 人件費の抑制      | 20  | 19       |
| 事務事業の見直し    | 55  | 55       |
| 社会保障費の増加の抑制 | 5   | 5        |
| 建設事業の重点化    | 5   | 2        |
| 財政収入の確保     | 50  | 56       |
| 改革効果額計      | 135 | 137      |

県債(通常債)残高の状況



県債(通常債)残高は、毎年確実に減少しています。



#### 福岡県財政改革推進プラン

##### 〔改革期間〕

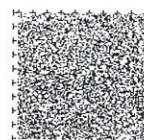
平成26年度～平成28年度

##### 〔改革の方針〕

- (1) 平成28年度までに、財政調整基金等三基金の取崩しに頼らない財政運営を実現。
- (2) 必要な社会資本整備を着実に進める一方、通常債残高を毎年度確実に減少させ、平成28年度末における通常債残高を平成24年度に比べ550億円程度圧縮する。

##### 〔改革措置の内容〕

- (1) 人件費の抑制 … 職員数360人削減、給与水準の見直し等
- (2) 事務事業の見直し … 必要性や効果の低い事業を廃止するなど、抜本的な見直しを実施
- (3) 社会保障費の増加の抑制  
… 「福岡県医療費適正化計画(第2期)」に基づき、生活習慣病の予防やサービス利用の適正化を図る
- (4) 建設事業の重点化  
… 県単独公共事業費について、平成27年度及び平成28年度において5%程度の抑制を行い、通常債残高を縮減
- (5) 財政収入の確保  
… 県税の確保対策強化、公社等外郭団体からの基本財産の返戻、未利用県有地の計画的売却等





## 「景気の回復と魅力ある雇用の場の創出」

## 中小企業の資金繰り支援(1,078億1,600万円)

県制度融資で6,891億円の融資枠を確保するとともに、融資利率や信用保証料の引下げ、返済条件の緩和などにより、県内中小企業の円滑な資金繰りを支援します。

商工部中小企業振興課 TEL 092-643-3424

または県内の商工会議所・商工会、中小企業団体中央会、中小企業振興センター、取扱金融機関などにご相談ください。  
ホームページ <http://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/seidoyusi.html>

## 福岡ソフトバンクホークスファーム開業記念事業(1,700万円)

福岡ソフトバンクホークスファーム本拠地が、3月にオープンする予定であり、これを機に、ファーム球場開業イベントや筑後七国等と連携し、広域圏において様々な関連イベントを実施します。

Q イベントはいつ開催されますか？

A 平成28年3月12日～5月8日の間の土・日曜日、祝日です。

Q どこで開催されますか？

A 筑後市の福岡ソフトバンクホークスファーム本拠地周辺です。

Q どんなイベントがありますか？

A ホークスファーム開業イベントや九州芸文館でのホークス関連イベントの他、筑後七国の物産展や郷土芸能披露等を予定しています。

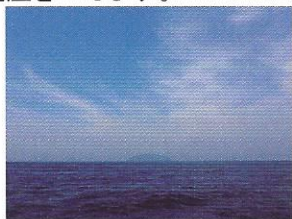
## 福岡の魅力発信強化(3,000万円)

アセアンと欧州において福岡の観光、食、農産物等の魅力を発信するプロモーションを実施し、本県の知名度向上により、海外からの観光客誘致や県産品の輸出促進を図ります。

## 世界遺産登録推進(8,000万円)

「明治日本の産業革命遺産」が、7月に世界遺産登録されたことを受け、記念式典を開催するとともに、主要交通機関において記念広告の掲示等を行います。

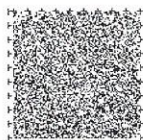
『『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群』については、本年7月に世界文化遺産の国内推薦候補として決定しました。今後は、平成29年度の世界遺産登録を目指し、景観ガイドラインの策定や来訪者対応の検討を進めるほか、平成27年10月に福岡で開催される国際イコモス年次総会において本県遺産をPRLします。



沖ノ島



三池炭鉱宮原坑



## 戦略的企業誘致推進(4,500万円)

市町村が行う工場適地の選定調査や公的遊休施設の整備を支援するとともに、三大都市圏において本社機能等立地促進セミナーを開催し、県内への企業誘致を推進します。

## 地域資源を活用した創業の促進(700万円)

新たな市場を開拓し、雇用を生み出す事業を創出するため、域外からの創業希望者を掘り起こし、地域資源(農林水産物や観光資源など)を活用した創業を地域ぐるみで支援します。

## 東京ガールズコレクション in 北九州開催支援(3,500万円)

国内はもとより、海外からも注目を集める国内最大級のファッションイベントの北九州開催を支援することにより、北九州の新しいイメージをつくりだします。国内外から北九州を訪れてもらい、県内を観光してもらうことで、福岡の魅力をPRLします。

Q 東京ガールズコレクションは東京以外で開催されることはあるのですか。

A コレクションは2005年から首都圏で年2回開催されています。2010年から復興支援等を目的に、福島、宮崎、沖縄等の地方でも開催され、地方都市の新たなイメージ創出を推進しています。

また、パリ、北京等でも開催されています。

Q 開催はいつですか。

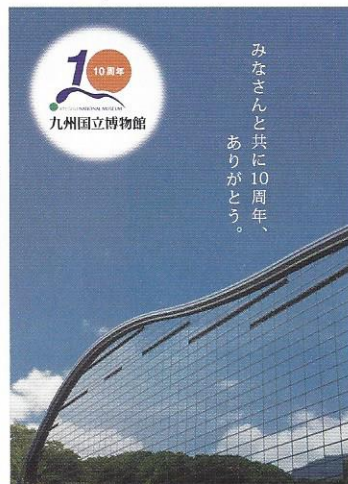
A 今年の秋、10月17日に開催予定です。

Q 国際イコモス年次総会とは何ですか？

A ユネスコの諮問機関であるイコモス(国際記念物遺跡会議)の文化財専門家約200名(約130ヶ国)が一堂に会する国際会議です。今回は奈良県に続き20年ぶり2回目の日本での開催であり、併せて設立50周年イベントも予定されています。

## 九州国立博物館運営(6億3,000万円)

九州国立博物館は、平成17年10月に開館し、平成26年9月には入館者数が1,200万人を超えました。開館10周年を迎える本年は、記念特別展をはじめ、県民の皆さんが文化・芸術を体感できる様々なイベントを開催します。



みなさんと共に10周年、  
ありがとうございます。



### 水田農業経営力の強化(9億500万円)

「農地中間管理機構」の積極的な活用により農地集積を進めるとともに、個別大規模農家や法人化された集落営農組織といった担い手に対し、低コスト化・複合化・多角化等の経営発展の取組みに必要な経費を助成し、専門知識を有するアドバイザーを派遣することにより、水田農業の経営力を強化します。

### 活力ある高収益型園芸産地の育成(14億円)

ビニルハウス等の施設整備や燃油使用量を削減するための省エネ設備等の導入に対する支援を行っています。

また、新たに、ハウス等の長寿命化に必要な改修等に対する支援を行います。

### 農林水産物のブランド化推進(3,700万円)

テレビCMなどの消費者を直接対象とした情報発信や、レストラン、コンビニ、ホテル等との連携による商品開発を支援することで、本県農林水産物のブランド力向上を図ります。

また、東京や大阪などの大都市圏や県内において、スーパーでの試食宣伝、県産農林水産物フェアや外食産業と連携した福岡産メニューの提供などを実施し、県産農林水産物の認知度向上、販売拡大を図ります。



「とよみつひめ」トップセールス



「ラーメン」ロゴマーク

### 県産農産物ブランド強化対策(200万円)

今年度から食品に機能性を表示できる「機能性表示食品制度」がスタートしました。県では、この取組みを支援することにより、県産農産物の付加価値向上を図ります。

### 6次産業化推進(1億5,600万円)

福岡県では、いちごの「あまおう」、いちじくの「とよみつひめ」、「八女茶」など、数多くの農林水産物が生産されています。これらの資源を生かした農林漁業の6次産業化を進めることは、地域産業の活性化を図り、雇用の創出や所得の向上につながります。

このため、農林漁業者自らによる新商品開発や販路開拓等の取組みに対し、専門家のアドバイスや助成などの支援を行います。

#### Q 「6次産業化」とは？

A 農林漁業(1次産業)者自らが、農林水産物の生産から農産加工、流通販売までを一体的に取り組むことで、所得を増大させたり、また、農林漁業者が、2次産業(製造加工業)・3次産業(流通サービス業)と連携(農商工連携)して、地域ビジネスの展開や新たな産業を創出することを指します。

### 未利用資源の活用促進(1,500万円)

竹チップやタケノコ皮を農業用資材や飼料として活用できる技術を開発し、未利用資源の活用を促進します。

#### Q 竹チップをどのように利用するのですか？

A 竹チップを積んでおくと発酵して熱と二酸化炭素が発生します。そこで、竹チップをナスなどの野菜や花の株元に敷きつめることで地面を暖め、光合成に必要な二酸化炭素を与えて、省エネや増収につなげます。

#### Q タケノコ皮は飼料になるのですか？

A タケノコ皮は栄養価が高く乳牛用飼料に適していますが、5月を中心とした限られた期間にしかとれないためあまり利用されていません。そこで長期間保存していつでも乳牛用飼料として利用できる技術を開発します。

### 食育・地産地消県民運動の展開(3,600万円)

県民の健康で豊かな生活の実現と、農林水産業の発展のため、平成25年6月に設立した「食育・地産地消ふくおか県民会議」を推進母体として、県民運動スローガン「いただきます！福岡のおいしい幸せ」のもと、食育や地産地消を県民運動として展開します。



県民運動ロゴマーク



たけのこ掘り体験

食育・地産地消ポータルサイト <http://www.f-ouen.com/>

### 林業への異業種参入促進(800万円)

造園業等から林業への参入を促進するため、新規参入希望業者と森林組合等とのマッチングを行い、新規参入業者が必要となる高性能林業機械の導入や運転技能、木材生産現場でのノウハウ取得に要する経費について支援します。

これにより、中山間地域の雇用の安定や収益の増加を図り、活性化に繋がります。

### 県産材・緑花木輸出促進対策(1,000万円)

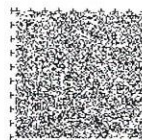
福岡・佐賀・長崎三県合同による県産材の輸出に取り組み、中国などへ安定的に輸出することにより、取引価格の上昇を実証します。

また、緑花木の長距離輸送における商品ロスの削減や輸出期間を延長する技術を開発し、EUへの輸出拡大を図ります。

### 集落一体となった多面的機能の保全(25億6,100万円)

平成27年4月1日に施行された「農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律」に基づき、農業・農村の多面的機能の維持・発揮のための地域活動や営農活動を支援しています。

主な活動として、水路・農道等の維持補修、耕作放棄地の発生防止、棚田の保全活動、化学肥料・農薬を5割以上低減する取組等が挙げられます。





#### 畜産競争力の強化(1億100万円)

雌雄産み分け技術の導入による酪農の生産性向上や、施設機械整備に取り組んでいます。

今年度から、飼料費の削減につながる自給飼料の生産拡大に必要な飼料収穫機械などの導入の支援、収益性をあげるため乳用種等から博多和牛、ブロイラーからはかた地どり等へ転換するのに必要な施設・機械整備の支援により、更なる競争力の強化を図ります。



「博多和牛」ロゴマーク



飼料稲の収穫作業

#### 全国豊かな海づくり大会準備(500万円)

本県での開催が決まった平成29年度の「第37回全国豊かな海づくり大会」について、実行委員会を立ち上げ、大会基本構想や開催場所を決定するほか、多くの皆様に大会に参加していただけるよう、大会テーマや大会キャラクターの募集などを通して、本県での開催を広くPRします。

Q 「全国豊かな海づくり大会」とは、どのような大会ですか？

A この大会は、「水産資源の維持・培養と海の自然環境保全の必要性を広く国民に訴えるとともに、漁業の振興と発展を図ること」を目的に、毎年、全国いずれかの都道府県で開催される国民的行事です。

主な行事として、先催県の例では、式典行事や海上歓迎(漁船パレード、稚魚放流)などがあります。

#### 連続立交差の整備(29億9,600万円)

慢性的な踏切渋滞を招いている西鉄天神大牟田線を高架化(約3.3km)することにより、交通渋滞及び踏切事故の解消に加え、分断された市街地を一体化することによる土地の利用価値向上、都市の活性化を図ります。

現況



完成イメージ



#### 東九州自動車道の建設促進(3億7,500万円)

東九州自動車道は、北九州市から鹿児島市に至る全長約436kmの高速道路であり、九州全体の産業・経済・文化等の活性化に重要な役割を果たす路線です。

本県では、東九州自動車道の早期完成を地元市町や経済界等からなる建設推進会議を中心に、地域と一体となって、県内区間の1日も早い完成に向けて取り組むとともに、周辺地域の東九州自動車道へのアクセス向上のための道路整備を行っています。



行橋IC航空写真

#### 農林水産物鳥獣被害防止対策(7億4,200万円)

イノシシなどの鳥獣被害軽減のため、侵入防止柵設置への支援や効果的な侵入防止・捕獲方法についての現地研修会を行うほか、新規狩猟者育成・確保のため、免許取得費の助成を行うとともに、ベテラン猟師による研修会を開催します。

#### ジビエ活用推進(1,300万円)

農林水産物に被害を与えるイノシシやシカ等の鳥獣を継続的に捕獲するために、県内の獣肉処理加工施設で食肉として処理されるジビエの利用の拡大を進めています。

このため、福岡県に日本ジビエサミットを誘致し、飲食店によるジビエ肉を提供するジビエ祭りを同時期に開催するなど、ジビエの活用を拡大するための様々な催しを開催します。

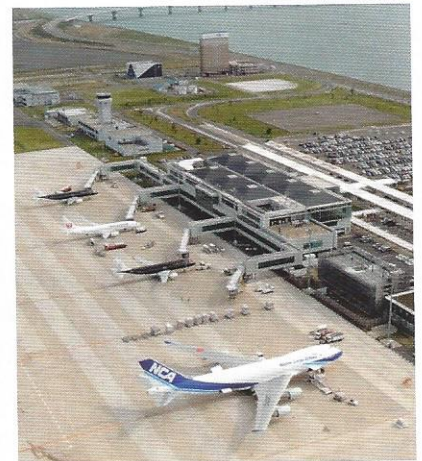


知事表敬で提供されたジビエ料理  
(イノシシのガーリック焼き)

#### 北九州空港の利用促進(2億6,100万円)

24時間利用できるという特色を最大限に活かして、貨物拠点化を推進するとともに、新たな国内・国際旅客便の誘致に取り組みます。

また、北九州空港と福岡都市圏間の広域アクセスを向上させるためリムジンバスを運行します。

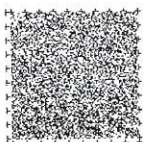


#### 三池港国際コンテナ航路安定化(3,600万円)

船社や荷主に対し、輸送経費の一部を助成することにより、コンテナ定期航路の誘致やコンテナ貨物取扱量の増加を促進し、県南地域の経済・産業の振興を図ります。

#### 苅田港新松山臨海工業団地の整備(4億6,500万円)

苅田港新松山地区は、高速道路・港湾・空港が5km圏内で利用可能であるなど、高いポテンシャルを生かした産業拠点の形成に向けて、工業団地の整備を進めています。





## 分散型エネルギーの普及促進(9億500万円)

エネルギーの多様化・分散化を促進するため、再生可能エネルギーを県有施設に率先導入するほか、防災施設・避難所への導入、市町村などによるエネルギー利用モデル事例の構築を支援します。

また、コージェネレーションについて、セミナーを開催し、その認知度向上と普及を進めます。



福岡県立鞍手高等学校  
の太陽光発電設備



### Q コージェネレーションとは何ですか？

A 天然ガスや石油等を燃料として発電を行うとともに、その際に生じる廃熱を給湯や冷暖房などに利用するシステムのことで、熱電併給システムとも呼ばれています。

エネルギー効率が高く、省エネ・省CO2システムとしてその普及が期待されています。

## 道路照明のLED化(2億600万円)

県有施設における省エネルギー対策の一環として、道路照明をLED照明に更新します。

## 持続可能なまちづくり戦略構想の推進(1,000万円)

市町村が行う中心市街地活性化基本計画や立地適正化計画の策定及びリノベーションを活用したまちづくりの推進に資する先進的な取組みに対して支援をすることにより、持続可能なまちづくり戦略の構築を推進します。

## 「出会い、結婚、子育て、就職・仕事の支援」

### 正規雇用促進企業支援センターの開設(1,200万円)

国や関係機関と連携して、支援対象企業に対する正規雇用の働きかけを行うとともに、人材確保や定着、助成金の申請手続き等に対するきめ細かな支援により、企業における人材確保を促進するため、正規雇用促進企業支援センターを開設します。

#### ○正規雇用促進企業支援センター

福岡県福祉労働部労働局労働政策課 TEL092-643-3592

### 周産期医療対策(4億3,800万円)

周産期母子医療センターの運営に対し助成を行うなど、安心して子供を産み育てられる医療環境の整備を図ります。

### 子ども・子育て支援新制度の推進(98億600万円)

平成27年4月にスタートした子ども・子育て支援新制度を推進するため、増大する保育需要に対応した保育所整備や保育士の確保に取り組むとともに、病児保育施設の設置促進や幼児教育・保育に関する情報提供など、多様なニーズに応じた保育サービスの提供により、子育て支援の充実を図ります。



### Q 「子ども・子育て支援新制度」とは？

A 「子ども・子育て支援法」等の法律に基づき、質の高い幼児教育・保育の提供、地域の子育て支援の拡充を進めていく新しい制度です。

### 年代別・対象別就職支援センターの運営(9,800万円)

求職者の円滑な就職を図るためには、個々の求職者の置かれた状況に応じたきめ細かな対応が必要のため、年代別・対象別就職支援センターにおいて支援を行います。

#### ○若者しごとサポートセンター(対象:おおむね29歳までの若者)

【福岡センター】TEL 092-720-8830

福岡市中央区天神1-4-2 エルガーラオフィス12階

【北九州branch】TEL 093-531-4510

北九州市小倉北区浅野3-8-1 AIMビル2階 若者ワークプラザ内

【筑後branch】TEL 0942-33-4435

久留米市諏訪野町2363-9 サンライフ久留米内

【筑豊branch】TEL 0948-23-1143

飯塚市吉原町6-1 あいタウン2階 市民交流プラザ内

#### ○30代チャレンジ応援センター(対象:おおむね30~39歳)

TEL 092-720-8831 エルガーラオフィス12階

#### ○中高年就職支援センター(対象:おおむね40~64歳)

TEL 092-433-9211

福岡市博多区博多駅東1-1-33 はかた近代ビル5階

#### ○若者サポートステーション(対象:15~39歳までのニート等)

【福岡】TEL 092-739-3405 エルガーラオフィス11・12階

【北九州】TEL 093-512-1871 AIMビル2階

【筑後】TEL 0942-30-0087 サンライフ久留米2階

【筑豊】TEL 0948-26-6711 あいタウン3階

#### ○子育て女性就職支援センター

(対象:就職を希望する子育て中の女性)

【福岡】TEL 092-725-4034

福岡市中央区赤坂1-8-8 福岡西総合庁舎5階

【北九州】TEL 093-571-6440

北九州市小倉北区城内7-8 小倉総合庁舎3階

【筑後】TEL 0942-38-7579

久留米市合川町1642-1 久留米総合庁舎1階

【筑豊】TEL 0948-22-1681

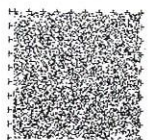
飯塚市新立岩8-1 飯塚総合庁舎別館2階

チャレンジ  
& サポート



### 高校生のキャリア教育の推進(2,900万円)

キャリアコーディネーターによるインターンシップ受入企業の開拓、キャリアセミナーを実施します。





## 「女性や高齢者の活躍の応援」

### 女性の活躍推進(2,500万円)

女性の活躍を推進するため、国際的に活躍する女性リーダーを招いた「福岡国際女性シンポジウム」や企業の男性管理職を対象とするセミナーの開催、女性が地域で活躍している優良事例の発信に取り組めます。

また、若者が自ら将来のことを主体的に考えることができるよう、大学生による高校生への出張授業を実施します。

そのほか、様々な分野の指導的地位で活躍する女性リーダーを育成する「ふくおか女性いきいき塾」及び「女性研修の翼」を実施するほか、企業等の研修会へ女性ロールモデルをアドバイザーとして派遣します。

一緒に働き、一緒に育てる。  
家事も育児も二人三脚



福岡県男女共同参画  
シンボルマーク



### 女性の視点や発想を活かした農業経営の推進(1,600万円)

女性農業者の起業を促進するため、商品づくりや商慣習等を学ぶ「女性起業家育成塾」を開催します。また、起業家同士が連携して商品開発等をするためのネットワーク構築や安定した商品製造のための業務用専用機器の整備についても支援します。

さらに、女性農業者の活躍を広くPRする大会を開催します。

併せて、女性の視点を活かした農業経営参画を進めるため、それぞれのライフステージに応じ、経営に重点を置いた研修会や他産業への派遣研修などを実施します。

### 70歳現役社会の推進(7,400万円)

年齢に関わりなく、意思と能力に応じて、働いたり、NPO・ボランティア活動等に参加し、活躍し続けることができる、選択肢の多い「70歳現役社会」づくりに取り組んでいます。

「70歳まで働ける企業」の開拓も進めており、県の入札参加資格審査で加点を行う制度も導入しています。

今年度は、北九州オフィスのコーディネータを増員し、また久留米市と飯塚市に新たにオフィスを開所するなど、よりきめ細かな支援を行うとともに利用者の利便性の向上を図ります。



#### 福岡県70歳現役応援センター

【福岡オフィス】092-432-2577

福岡市博多区博多駅東1-1-33 はかた近代ビル5階

【北九州オフィス】093-513-8188

北九州市小倉北区船場町2-10 近藤会館4階

【久留米オフィス】0942-36-8355

久留米市天神町8番地 リベール4階

【飯塚オフィス】0948-21-6032

飯塚市本町7-25 三協木村ビル1階(本町商店街)

### 女性アスリート育成(900万円)

練習環境の整備や有望選手を発掘し、東京オリンピックに向けて、女性アスリートの育成・強化を行います。

## 「たくましいグローバルな人材の育成」

### 学力アップの推進(2億9,200万円)

小学校5年生、中学校2年生を対象とした学力調査の実施・検証、学力向上推進強化市町村の指定、学力向上のための非常勤講師派遣などを実施します。

また、小学校5年生～中学校3年生を対象とした国語、算数・数学に関する活用力育成教材集を作成し、診断テストを実施します。

併せて、外部人材を活用した学力向上のための土曜授業を実施する市町村への助成を行います。

### 放課後等の学習活動の支援(1,600万円)

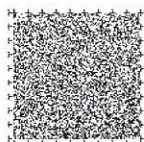
放課後等に小中学生を対象とした「学び道場」を開設し、各教科の補充学習や各種検定への挑戦等を行う市町村への支援を行います。

### 児童生徒の英語力向上(2,000万円)

教員の資質向上のために海外派遣研修を実施するなど、英語教育の指導体制を充実するとともに、英語教育の早期化や高度化に対応した指導方法の研究開発等を行います。

### 読書活動への支援(700万円)

読書習慣の定着と学校・家庭・地域における読書環境の充実を図るため、市町村が行う小・中学生を対象とした読書活動事業に対して支援を行います。



### 子どもの体力の向上(2,400万円)

小学生の体力向上を目指した体幹を意識した運動など「活動プログラム」の研究開発を行うとともに、中・高等学校の運動部活動へ外部指導者を派遣します。



### 非行防止・絆プロジェクトの推進(1,900万円)

非行少年等の立ち直りのための支援拠点に対する助成、ボランティア体験活動等の支援、NPOと連携した就労支援に取り組むほか、新たに就労開始時の身元保証に対する支援を実施します。また、非行防止やネット依存に詳しい講師を地域やPTAなどが主催する学習会等に派遣し、青少年が抱える問題への理解やその防止方法の普及を図ります。

### 青少年ネット適正利用の促進(900万円)

インターネットによる犯罪被害やいじめなどから青少年を守るとともに、適切な利用を促すため、ネットパトロールボランティアの養成や、青少年自らが考え、気づきを促すワークショップなどを実施します。



## ラグビーワールドカップ2019福岡開催(3,300万円)

ラグビーワールドカップ2019が本県を含む12会場で開催されます。この大会の成功に向け、ラグビーの普及や気運の醸成、キャンプ地の誘致や開催の準備に取り組みます。



## 青少年アンビシャス運動の推進(4,700万円)

子どもたちが放課後や休日に気楽に集まって遊んだり、多様な体験ができる「アンビシャス広場」の開設や海外のサマーキャンプに中・高校生を派遣し、世界の青少年と切磋琢磨させる「アンビシャスの翼」などを通じ、「豊かな心、幅広い視野、それぞれの志を持つたくましい青少年」の育成を目指す県民運動、青少年アンビシャス運動を推進します。

## 地域スポーツ活性化事業(タレント発掘・コンソーシアム)(3,500万円)

2020年に開催される東京オリンピックで、福岡県のアスリートがメダルを獲得することを目指し、海外からトップコーチを招聘して、育成・強化を図ります。(アーチェリー)

また、本事業をとおして、アスリート育成のための高品質なプログラムの開発や、アスリートを世界に導く指導者の育成、高品質なプログラムを恒常的に実施できる環境の整備を図ります。

## スポーツの総合祭典市町村対抗「福岡駅伝」(400万円)

スポーツフェスタ・ふくおか「福岡県民体育大会」の冬季大会として実施していた「郡市対抗駅伝競走大会」をリニューアルし、スポーツの総合祭典として、食や健康などのイベントと同時開催する「市町村対抗「福岡駅伝」」を、26年度より実施しています。

中学生以上の男女9名でチームを編成し、郷土の誇りを胸に、チーム一丸となって順位を競います。

## 国際感覚あふれる子ども・若者の育成(2,100万円)

県内の青少年を飛躍的に発展しているアジア諸国等へ派遣し体感させることで、地域のみならず世界を舞台に活躍する若者を育成します。



## 海外福岡県人会との連携強化(2,600万円)

「パラグアイ福岡県人会移住60周年(エンカルナシオン市)」や「アルゼンチン福岡県人会創立50周年(ブエノスアイレス市)」等の各国県人会の周年記念式典等参加のため県訪問団を派遣するなど、県人会と連携して本県と海外との関係強化や交流を図ります。

## 福岡県留学生サポートセンターの運営(4,200万円)

大学、経済界、行政が一体となって運営する「福岡県留学生サポートセンター」において、留学生に対する総合的な支援に取り組みます。

### 福岡県留学生サポートセンター

ホームページ <http://www.fissc.net>

### Q ラグビーワールドカップとは何ですか？

A ラグビーワールドカップとは、4年に1度開催されるラグビー世界一を決定する大会です。オリンピック、FIFAワールドカップに次ぐ、世界3大スポーツイベントと呼ばれています。

### Q 福岡以外の会場はどこですか？

A 福岡県福岡市のほかに、札幌市、岩手県釜石市、東京都、埼玉県熊谷市、神奈川県横浜市、静岡県、愛知県豊田市、大阪府東大阪市、神戸市、熊本県熊本市、大分県の12会場で開催されます。



## ふくおかスポーツ夢体験事業(400万円)

子どものスポーツに対する意欲の喚起や技術の向上、地域スポーツの推進を目的として、福岡県内のプロスポーツ選手や県内に活動拠点を置き活躍しているアスリートによる、小、中学生を対象としたスポーツ教室を開催します。

## 地域参画型小中学校支援体制の構築(2,600万円)

学校・家庭・地域が連携協力し、地域全体で子どもを育成する体制の構築を目指す市町村への支援を行います。

## 高等学校等における特別支援教育の推進(1,200万円)

特別支援教育支援員を配置し、特別な支援を必要とする生徒に対し、介助や学習支援を行うとともに、発達障害等のある生徒に対する就労支援の実践研究等を行います。

## 不登校生徒の復帰支援(300万円)

適応指導教室に通う児童生徒を対象にした学校復帰支援プログラムの開発等を行います。

## 不登校対策の強化(学習支援センターへの助成)(1,000万円)

一般社団法人福岡県私学教育振興会が県内4か所に設置する学習支援センターに助成を行い、同センターが実施している高等学校等での学習の継続が困難な生徒や中途退学者に対してのカウンセリング及び学力に応じた学習プログラムの実施等の学習継続の支援を行っています。

### 学習支援センター

【福岡】092-588-7000

【北九州】093-953-7025

【飯塚】0948-21-3000

【久留米】0942-34-3640

ホームページ <http://www1.bbq.jp/f.shigaku-shien/>

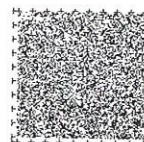
## 不登校対策の強化(フリースクールへの助成)(1,600万円)

不登校児童生徒を受け入れているフリースクールのうち、一定の要件を満たすフリースクールに助成を行っています。

指導員や心理カウンセラー、学習や農業体験、季節行事などに必要な経費の一部を助成することにより、不登校児童生徒の学校復帰や進学支援を行っています。

## 新県立美術館の整備検討(200万円)

新県立美術館の在り方について、専門的な検討を行うための基本構想検討委員会(仮称)を設置します。





## 「安心して生活できる共助社会の実現」

### 健康長寿のための医療・介護の拠点づくり(4,600万円)

医療レポート等のデータ分析や、介護予防事業の評価を行い、効果的な介護予防のプログラムを策定・実施することで、健康寿命の延伸、医療費・介護費の増加の抑制を図り、その成果を県内市町村へと発信します。

#### Q 健康寿命とは何ですか？

A 健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間をいいます。

この健康寿命と平均寿命の差が、介護を要する等、日常生活に制限のある期間と考えられ、日常生活に支障が生じる疾病をもつ方や要介護状態になる方が多いと健康寿命は短くなります。

### 難病患者に対する相談・支援体制の強化(3,300万円)

「難病の患者に対する医療等に関する法律」及び「改正児童福祉法」の施行による公費助成対象疾病の増加に伴い、難病患者とその家族の方からの相談対応等の支援や入転院施設の確保が必要な重症神経難病患者への支援充実のため、福岡県難病相談・支援センターの相談・支援体制を強化します。

また、新たに小児慢性特定疾病児童等自立支援員を配置し、小児期から成人期まで切れ目のない支援を行います。

### 摂食障害治療支援センター事業(400万円)

摂食障害は、重症化すると社会的ひきこもりや自殺のリスクを高めるだけでなく、腎不全等の身体合併症を引き起こすことがあり、早期発見・早期治療が重要です。

このため、摂食障害治療支援センター(九州大学病院内)を設置し、摂食障害に関する患者・家族への専門的な相談支援、標準的な治療方法普及のための精神科病院等への研修、摂食障害に関する普及啓発を実施し、摂食障害患者の支援体制をつくります。

### 多様な主体との協働による共助社会の推進(3,500万円)

新しい共助社会の実現に向けて、NPO等の活動を活発化し、企業、行政など多様な主体との協働の拡大に取り組みます。

・県民や企業からの寄附を活用し、NPO等が多様な主体と協働で取り組む社会貢献活動に助成し、その成果を広く周知することで、NPO活動に対する理解と共感を広めます。

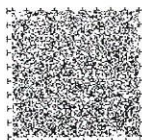
・寄附獲得手法の習得支援やNPOと企業とのビジネスマッチング支援等を行い、NPOの収入拡大を図るとともに、その成果を発信するふくおかNPOマーケットを開催します。

・地域における協働を促すため、コーディネートを担う市町村NPO・ボランティアセンターを対象に実践的研修を行います。

### 福岡県共助社会づくり基金



福岡県NPO・ボランティアセンター  
福岡県吉塚合同庁舎5F(JR吉塚駅そば)  
TEL 092-631-4411  
ホームページ <http://www.nvc.pref.fukuoka.lg.jp>



### 認知症ケアのための人材養成(5,900万円)

研修により介護従事者の認知症対応力の向上を図るとともに、認知症の方、そのご家族、住民の皆さんによる意見交換会などを実施し、地域住民の認知症に対する理解を深めます。

### 小児医療の提供体制の確保(4,600万円)

先天性心疾患の治療など高度で専門的な小児医療の提供体制を確保するため、医療機関の設備整備等に対し助成を行います。

### 小児救急医療電話相談(4,200万円)

子供の急な病気やケガに関する相談に対し、看護師や小児科医がアドバイスをを行う休日夜間の電話相談(#8000)を行っています。

【受付時間】

平日:19時～翌朝7時 土曜:12時～翌朝7時 日祝:7時～翌朝7時



### 介護ロボット導入支援(1,500万円)

移乗支援、移動支援、排泄支援、見守り支援、入浴支援の5分野において、介護業務の負担軽減や効率化のために利用する介護ロボットを、先進的な取組みとして導入する介護施設に対して支援を行います。

#### Q 介護ロボットとは何ですか？

A 介護ロボットに法令等で定められた定義は有りませんが、一般に、「センサー等により外界や自己の状況を認識し、情報を解析して動作を行う」というロボットの技術を介護分野に活用した機器のことをいいます。

### 生活困窮者の自立支援(1億2,000万円)

生活保護に至る前の段階の自立支援策の強化を図るため、生活困窮者に対して包括的・継続的な支援を実施します。

### 発達障害児等支援(1,200万円)

発達障害者支援センターに、発達障害者地域支援マネージャーを新たに配置し、地域での協力支援体制の構築を図ります。

保育士や相談支援従事者等に対し、発達障害の特性、早期発見の方法、事例演習等に係る研修を実施します。

18歳以上の発達障害者及びその家族等が集う場を設置し、情報交換のできる交流会活動を実施します。

### 障害者の差別解消推進(600万円)

障害を理由とする差別の禁止や合理的配慮の不提供の禁止を規定した障害者差別解消法について、平成28年度からの施行に向け、県民や事業者に対し、普及・啓発活動を行います。

県職員に対しては、職員対応要領を作成し、遵守すべき事項の周知徹底を図ります。また、相談及び紛争防止等の体制整備のため、障害者差別解消推進員を配置するとともに、障害者差別解消支援地域協議会の発足を図ります。

### 障害者の就職支援(8,600万円)

「障害者就業・生活支援センター」を県内13か所に設置し、障害者の就業面から生活面を一体的に支援しています。今年度は新たに精神障害者の就職支援や職場定着の支援を強化するため、精神保健福祉士を県内4か所のセンターに配置します。

また、特別支援学校の生徒が企業に職業技能を発表する発表会や企業の人事担当者と特別支援学校教職員との交流会を実施し、特別支援学校卒業生の就職拡大を目指します。



## 「安全・安心、災害に強い県づくり」

### 緊急輸送道路等の整備(179億8,600万円)

災害時の救助活動や救援物資の輸送に利用する緊急輸送道路の整備、法面工等による落石・法面崩壊等の未然防止、道路施設の老朽化対策、橋りょうの耐震補強等を行います。

### 河川・砂防災害関連事業の実施(67億100万円)

豪雨による浸水被害が発生した河川の改修工事や、土石流被害地区の砂防工事等を行います。

### 通学路等における安全・安心な歩行空間の創出(56億500万円)

交通量が多く、事故の可能性が高い通学路等について、歩道の整備、路肩のカラー舗装などを推進し、児童等の安全な通行を確保するほか、交通事故の発生件数が多い危険な箇所については、交差点の改良、道路照明の設置などを推進し、事故削減対策を行います。

### 福岡空港、北九州空港の整備(15億3,900万円)

福岡空港の滑走路増設や平行誘導路二重化、北九州空港の駐機場整備等を国、関係市町と連携し実施します。

#### Q 平行誘導路とはなんですか？

A 滑走路と駐機場等を結ぶ航空機の通路です。

#### Q 平行誘導路二重化とはどんな事業なのですか？

A 福岡空港では国内線ターミナル地域の平行誘導路が1本しかなく、発着航空機が集中して混雑するため、慢性的な遅延、待機が発生している状況です。これを緩和するため、平行誘導路を二重化し対面通行ができるようにするものです。

#### Q 北九州空港に駐機場を整備するのはなぜですか？

A 県では北九州空港の貨物拠点化に取り組んでおり、大型の貨物機をとめたり、長さがある特殊な貨物などを積み込める駐機場が必要だからです。

### 持続可能な污水处理システム構築(600万円)

県内污水处理人口普及率の向上及び污水处理施設の持続可能な運営を図るため、各市町村の特徴や社会情勢の変化を踏まえた「福岡県污水处理構想」を策定します。

### 流域下水道の整備(77億300万円)

公共用水域の水質保全及び生活環境の改善を図るため、流域下水道の整備を進めています。

### 避難行動要支援者の避難支援(700万円)

市町村における高齢者や障害者など避難行動要支援者の「個別避難支援計画」策定を支援します。

### 自主防災組織の育成強化(2,600万円)

災害時の避難誘導などの防災活動を行う、自主防災組織の設立促進や活動の活性化を図るとともに、地域の防災活動の中心的な役割を担う消防団員等を自主防災組織の指導員として養成します。



自主防災組織や消防団による危険箇所の確認

### ため池等の整備(20億4,100万円) 治山施設の整備(42億8,100万円)

公共施設、人命等に対する災害発生を未然に防止するため、老朽ため池、農業用排水施設等の改修、治山施設の整備などの防災対策を重点的に実施します。



改修後の  
農業用ため池

### 県営公園の整備(18億3,300万円)

県民の皆さんの健康増進に寄与し、自然とふれあえる場として筑後広域公園をはじめ9箇所の県営公園の整備、維持管理を行っています。

### 建築物の耐震化促進(1億7,500万円)

耐震改修促進法の改正により耐震診断が義務化された民間の大規模建築物に対し、耐震診断の補助制度を継続するとともに、耐震診断の結果、改修が必要とされたものに対して、耐震改修の補助制度を創設しました。(政令市所在のものを除く。)また、住まいの耐震化教室、耐震相談や耐震診断アドバイザー派遣等を実施するとともに、木造戸建て住宅の耐震改修工事費について、県から市町村を通じて補助を行います。

### 鉄道駅舎等の耐震化対策(9,300万円)

鉄道事業者が実施するJR博多駅、西鉄薬院駅、西鉄大橋駅の耐震改修に対し、国・市と協調して補助を行います。耐震化によって震災時に駅利用者の安全を守り、震災直後の一時避難場所や情報発信拠点にもなりうる主要なターミナル駅の機能を確保します。

### 県立学校の耐震化対策(74億5,400万円)

14校の耐震改修を行います。

### 私立学校の耐震化促進(4億1,500万円)

学校法人が設置する私立幼稚園、小・中・高等学校施設の耐震化工事に係る費用に対し補助を行うことにより、学校施設の耐震化を促進し、在籍する園児、児童、生徒の安全安心を確保します。

### 病院の耐震化対策(13億6,200万円)

災害拠点病院等の耐震化に対し助成します。

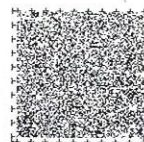
### 原子力災害対策(2億700万円)

玄海原子力発電所で万が一、大規模な事故が発生した場合に備え、住民の避難誘導に必要な資機材を整備するとともに、佐賀・長崎両県と県境を越える広域避難について協議を進め、両県と連携した防災訓練を実施します。

また、原子力防災に携わる人材の育成に取り組みます。



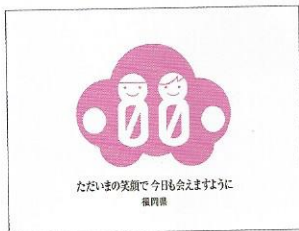
原子力防災訓練





## 飲酒運転撲滅対策(1,900万円)

平成24年4月に全国初の罰則付き「飲酒運転撲滅条例」が施行され、平成27年2月には、一部改正による更なる対策の強化が図られました。この条例の周知を図るとともに、「飲酒運転撲滅宣言企業・宣言の店」の登録拡大、アルコール依存症に関する受診指導などを着実に進めます。



## 「ニセ電話詐欺」対策(200万円)

ニセ電話詐欺の被害が過去最悪のペースで推移しています。ニセ電話詐欺は、匿名性や広域性が高く、「振込型」のほかに新たな手口として「送付型」・「受取型」が近年増加しています。そこで、金融機関等と連携した被害防止対策と併せて、「送付型」・「受取型」の受取役被疑者を現場検挙するための対策を推進し、犯行グループを摘発していきます。



## 子どもと女性の安全対策(4,100万円)

電話相談や警察・病院への付き添いなど、被害に遭われた方へのきめ細かな支援を行う「性暴力被害者支援センター・ふくおか」の相談受付時間を、平成27年12月から24時間とし、支援体制を強化します。

また、「女性と子どもの安全まもり企業」の拡大、啓発イベントの開催に加え、新たに、性犯罪が急増する若年層に向けた被害防止のための啓発や防犯用品の普及啓発を実施し、犯罪防止に向けた取組みを進めます。

さらに、街頭防犯カメラの普及を促進し、捜査資器材の充実を図って犯人を早期に検挙するなど、子どもと女性の安全対策を推進していきます。



性暴力被害者支援センター・ふくおか TEL 092-762-0799

## 空き家活用モデル普及促進(500万円)

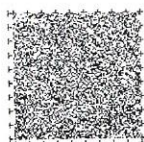
近年増加している空き家を有効活用するため、民間事業者等と空き家の情報を把握している市町村が連携して実施する「空き家活用モデル事業」に補助を行い、空き家活用の先導事例を作ります。

この先導事例を県内に広く普及・啓発することで、空き家の有効活用を推進します。

## 多様な主体による生物多様性戦略の推進(800万円)

県民の皆さんに生物多様性の重要性について理解を深めていただき、多様な主体による保全活動の活性化につなげていくために、県民参加型生きもの調査「ふくおか生きもの見つけ隊」やボランティア団体等と協働で進める英彦山絶滅危惧植物の保護活動、外来種の生息状況調査などを実施します。

また、朝倉市の黄金川において絶滅が危惧されているスイゼンジノリの保全対策を支援します。



## 暴力団排除対策の推進(4億1,500万円)

県民の安全確保を徹底し、暴力団犯罪の取締りを強化するとともに、暴力団排除条例に基づき、公共及び民間事業からの暴力団排除、暴走大会の開催等による暴力団排除気運の醸成、暴排先生による中高生に対する暴力団排除教育の推進など、社会から暴力団を排除するための様々な取組を強力に推進していきます。

また、各地域で、気運高揚と連携強化のため、「暴力団追放! 地域決起会議」を開催するほか、市町村の暴力団排除促進のための職員研修会の実施、暴力団対策防犯カメラの設置や暴力団事務所撤去運動への支援に取り組む市町村に対する助成を引き続き行うなど、地域や社会経済活動からの暴力団排除を強力に進めます。



## 危険ドラッグ撲滅対策(4,800万円)

危険ドラッグ販売業者に対する取締りを強化し、その供給源を絶つとともに、乱用が広がっている若年層への啓発を強化し、その需要も絶ってまいります。

また、平成26年12月に施行された「福岡県薬物の濫用防止に関する条例」を周知し、薬物乱用防止対策を推進します。



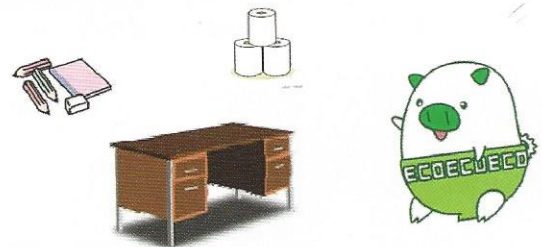
「危険ドラッグ」の一例

### Q 危険ドラッグとは何ですか?

A 麻薬、覚醒剤等の規制薬物に化学構造を似せて作られ、これらと同様の薬理作用を有する薬物です。規制薬物を含有しない物品であることを標榜しながら規制薬物を含有することもあります。危険ドラッグを使用した者が、車を運転し他人をけがさせた例、錯乱状態で他人を殺害した例、急性中毒となり死亡した例などが報告されており、大変危険な薬物です。

## 県産リサイクル製品認定事業(500万円)

紙類、文具類、オフィス家具等の県内製造リサイクル製品を環境物品として認定する新たな制度を創設し、その製品の利用を促進することにより、さらなる再生利用率の向上と県内リサイクル産業の育成に取り組めます。



オオヤマレンゲ  
(福岡県レッドデータブック  
2011絶滅危惧ⅠA類)



#### 産業廃棄物処理現場対策(7億2,400万円)

飯塚市の産業廃棄物最終処分場において行政代執行を着実に実施します。安定型最終処分場において定期的に掘削調査を実施し、不適正処理の早期発見に努めます。

また、長期化している産業廃棄物の不適正処理現場において、ボーリング調査などにより実態を詳細に把握するとともに、専門委員会において解決に向けた取組みを検討します。

#### 地域鉄道への支援(1億2,500万円)

筑豊電気鉄道(株)が実施する老朽化した車両の更新等に対し、沿線3市(北九州市、中間市、直方市)と連携して補助することにより、地域住民の生活交通を確保するとともに、地域の活性化に寄与します。



平成27年度更新車両イメージ

#### 災害廃棄物処理計画の策定(1,900万円)

大規模災害の際に被災地の復旧・復興を迅速に進めるため、建物の倒壊等により発生したがれきや破損・汚損した家財などの災害廃棄物を適正かつ迅速に処理する事項について定めた災害廃棄物処理計画を策定し、災害時には計画に基づき対策を進めていきます。

#### アジア諸地域への環境協力の推進(4,900万円)

本県には、公害克服の過程で蓄積された環境技術やノウハウ等があります。一方、経済発展の著しいアジア諸地域においては、深刻な環境問題を抱えている自治体が増えています。

そこで、アジアの友好提携先と環境協力協定を締結し、本県に蓄積された環境技術・ノウハウ等を活かしながら、人材育成、環境技術の交流、環境教育面での支援などを行い、環境改善に貢献し、ひいては県内環境産業の振興につなげていきます。

#### 松くい虫被害対策(1億6,000万円)

急増している松くい虫の被害まん延を防止するため、一部森林環境税を活用し、市町が実施する枯れた松林の伐倒駆除などの被害対策を支援します。

#### 五ヶ山ダム建設(114億3,400万円)

#### 伊良原ダム建設(101億600万円)

ダムにより、洪水被害軽減や河川環境保全等を図るとともに、水道用水を確保することで、住みよい環境を守ります。

## (参考) 平成26年度2月補正 経済対策の概要

国の経済対策に係る補正予算を最大限活用し、「消費喚起対策」、「人口減少対策」、「事前防災・減災対策」に取り組む経費を平成26年度2月補正予算として措置し、平成27年度当初予算と合わせてしっかり取り組んでまいります。

(単位: 百万円)

|                   |        |
|-------------------|--------|
| 経済対策(一般会計+特別会計)   | 21,808 |
| 一般会計              | 21,347 |
| ○ 事業費             | 20,752 |
| ・ 消費喚起対策          | 4,104  |
| ・ 人口減少対策          | 1,245  |
| ・ 事前防災・減災対策       | 14,292 |
| ・ その他             | 1,111  |
| ○ 基金積立金           | 595    |
| 特別会計(流域下水道事業特別会計) | 461    |
| ・ 下水道施設耐震化        | 461    |

(単位: 千円)

#### 地域商品券による地域経済活性化支援費 1,552,144【拡充】

- ・ 市町村と連携して、商工会議所・商工会や商店街が行うプレミアム付き地域商品券の発行を支援

[発行規模] H26 121億円 → H27 250億円

#### ふるさと名産品・旅行消費拡大事業費 2,551,856【新規】

- ・ 通販サイト等を活用し、県内で利用できる旅行券や名物商品を割引価格で販売

(単位: 千円)

#### 水素エネルギー戦略推進費 318,119

- ・ 水素ステーション整備に対する助成【拡充】
- ・ 県庁水素ステーション(移動式)の整備【新規】
- ・ レンタカー、タクシーへのFCV導入助成【拡充】

#### 年代別・対象別就職支援センター事業費 157,874

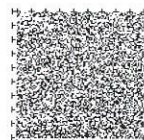
- ・ 若者しごとサポートセンター、30代チャレンジ応援センター、中高年就職支援センター、若者サポートステーションによるニーズに応じたきめ細かな支援
- ・ 保護者向けUターン就職相談の実施【新規】

#### 70歳現役社会推進費 90,319

- ・ 70歳現役応援センターによる就業・社会参加支援
- ・ 同センターの久留米オフィス、飯塚オフィスの設置【新規】

#### 医療施設防災設備整備費補助金 3,023,473

- ・ 病院・有床診療所のスプリンクラー設置等に対する助成





# 福岡県 宝くじ情報

みなさん  
宝くじは  
福岡県内で  
買ってね。



## ●宝くじの概要

宝くじは、地方財政法及び当せん金付証票法に基づき、都道府県及び指定都市（全67団体）により発売されています。

平成27年度の福岡県の宝くじ収入は約64.4億円（時効金を含む）の見込みです。

この収入を充当して平成27年度は、右のような事業に活用していきます。

## ●平成27年度の宝くじ収益金の使途（予定）

| 事業           | 金額     |
|--------------|--------|
| 道路・基盤整備・学校整備 | 9.3億円  |
| 高齢化少子化対策     | 20.5億円 |
| 芸術文化振興事業     | 8.1億円  |
| 地域経済活性化事業    | 5.6億円  |
| 国際化推進事業      | 1.8億円  |
| 環境保全・創造等事業   | 2.3億円  |
| 市町村振興交付金     | 16.8億円 |
| 合計           | 64.4億円 |

## 平成27年度 宝くじ 発売 スケジュール

| 名称       | 発売期間               | 名称          | 発売期間                |
|----------|--------------------|-------------|---------------------|
| サマージャンボ  | 7/8(水) ~ 7/31(金)   | 100円くじ      | 9/9(水) ~ 9/25(金)    |
| 7000万サマー | 7/8(水) ~ 7/31(金)   | スクラッチくじ     | 9/16(水) ~ 9/29(火)   |
| スクラッチくじ  | 7/8(水) ~ 7/21(火)   | 100円くじ      | 10/14(水) ~ 10/27(火) |
| スクラッチくじ  | 7/22(水) ~ 8/4(火)   | スクラッチくじ     | 10/14(水) ~ 10/27(火) |
| スクラッチくじ  | 8/19(水) ~ 9/1(火)   | スクラッチくじ     | 10/28(水) ~ 11/10(火) |
| 夏・キラキラくじ | 8/17(月) ~ 9/1(火)   | 秋のビッグチャンスくじ | 10/28(水) ~ 11/10(火) |
| 宝くじの日記念  | 9/2(水) ~ 9/15(火)   | スクラッチくじ     | 11/11(水) ~ 11/24(火) |
| スクラッチくじ  | 9/2(水) ~ 9/15(火)   | 100円くじ      | 11/11(水) ~ 11/26(木) |
| オータムジャンボ | 9/28(月) ~ 10/16(金) | スクラッチくじ     | 11/25(水) ~ 12/8(火)  |

●数字選択式宝くじ（ナンバーズ3・ナンバーズ4・ミニロト・ロト6・ロト7）は、毎日発売しています。福岡銀行のATMや宝くじ売場で購入できます。

県の財政に関する情報は、県ホームページでもご覧になれます。

※県ホームページにある「県政基本情報」の「予算・決算・県債・宝くじ」に掲載しています。

福岡県ホームページアドレス  
<http://www.pref.fukuoka.lg.jp/>

発行・編集



福岡県総務部財政課  
〒812-8577  
福岡市博多区東公園7番7号  
TEL 092-643-3054  
E-mail zaisei@pref.fukuoka.lg.jp



福岡県広報部長  
エコトン

